



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月14日

上場会社名 天昇電気工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 6776 URL <https://www.tensho-plastic.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 石川 忠彦

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 沼口 和成

TEL 042-788-1555

四半期報告書提出予定日 2022年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	10,896	26.4	266	—	445	445.3	329	—
2022年3月期第2四半期	8,620	29.5	19	413.3	81	—	20	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 909百万円 (548.2%) 2022年3月期第2四半期 140百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	19.39	—
2022年3月期第2四半期	1.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	23,251	9,348	33.1	451.68
2022年3月期	21,318	8,089	33.1	415.13

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 7,684百万円 2022年3月期 7,063百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,000	23.4	600	165.7	540	52.0	350	42.2	20.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 — 社 （社名） 、 除外 — 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有
（注）詳細は、添付資料「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）				
① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	17,014,000 株	2022年3月期	17,014,000 株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	86 株	2022年3月期	85 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	17,013,914 株	2022年3月期2Q	17,013,915 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 10
(会計方針の変更)	P. 10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 10
(セグメント情報等)	P. 11
(重要な後発事象)	P. 13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、ウィズコロナの新たな段階への移行が進められる中、一部では持ち直しの動きも見られたものの、原材料価格の高騰による企業収益や個人消費への影響が顕在化しつつあるなど、先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループは新型コロナウイルス対策として、在宅勤務や交代勤務の実施などにより感染リスクの軽減に努める一方、引き続き売上拡大に向け営業強化を図るとともに工程改善、生産効率の向上及び原価低減に取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高108億96百万円（前年同四半期比26.4%増）、営業利益2億66百万円（前年同四半期比1,295.4%増）、経常利益4億45百万円（前年同四半期比445.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益3億29百万円（前年同四半期比1,483.0%増）となりました。

セグメントごとの状況は、以下のとおりであります。

日本成形関連事業

日本成形関連事業では、半導体の供給不足により、納入先である自動車メーカーの完成車工場で操業停止や減産が引き続き実施されているものの、ウィズコロナの新たな段階への移行が進められる中で生産量は回復傾向にあります。また、2021年7月より連結子会社とした竜舞プラスチック株式会社の売上も寄与しております。この結果、売上高90億60百万円（前年同四半期比28.3%増）、セグメント利益1億7百万円（前年同四半期はセグメント損失1億63百万円）となりました。

中国成形関連事業

中国成形関連事業では、主要顧客からの受注が大幅に増加したことに加え、利益率の高い製品の受注も好調に推移しました。この結果、売上高3億89百万円（前年同四半期比76.0%増）、セグメント利益65百万円（前年同四半期比272.9%増）となりました。

アメリカ成形関連事業

アメリカ成形関連事業では、半導体の供給不足は続いているものの、家電等の生産量は回復傾向にあります。一方で、メキシコ第二工場新設に伴う先行経費を計上していることから、コストは増加しております。この結果、売上高13億3百万円（前年同四半期比9.4%増）、セグメント損失26百万円（前年同四半期はセグメント利益51百万円）となりました。

不動産関連事業

相模原市の賃貸建物、二本松市所在の土地から構成されております。売上高1億43百万円（前年同四半期比0.1%減）、セグメント利益1億17百万円（前年同四半期比0.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、232億51百万円（前連結会計年度末比19億32百万円増）となりました。

流動資産は、現金及び預金36億84百万円（前連結会計年度末比3億18百万円減）、受取手形、売掛金及び契約資産35億27百万円（前連結会計年度末比1億86百万円増）等により111億81百万円（前連結会計年度末比5億36百万円増）となりました。

固定資産は、有形固定資産114億80百万円（前連結会計年度末比14億1百万円増）、投資その他の資産4億97百万円（前連結会計年度末比3百万円増）等により120億70百万円（前連結会計年度末比13億95百万円増）となりました。

②負債

負債合計は、139億3百万円（前連結会計年度末比6億74百万円増）となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金25億53百万円（前連結会計年度末比3億42百万円増）、電子記録債務30億16百万円（前連結会計年度末比90百万円減）等により93億94百万円（前連結会計年度末比3億89百万円増）となりました。

固定負債は、長期借入金35億77百万円（前連結会計年度末比3億55百万円増）等により、45億9百万円（前連結会計年度末比2億84百万円増）となりました。

③純資産

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上、為替換算調整勘定の変動、非支配株主持分の計上等により93億48百万円（前連結会計年度末比12億58百万円増）となりました。

④キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ3億18百万円減少し、37億57百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは4億72百万円の収入（前年同四半期8億31百万円の収入）となりました。主な要因は、減価償却費9億26百万円の計上、売上債権の増加4億20百万円、未払消費税等の減少1億90百万円等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは15億円の支出（前年同四半期4億56百万円の支出）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出14億34百万円等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは5億44百万円の収入（前年同四半期3億99百万円の収入）となりました。主な要因は、長期借入による収入12億49百万円、長期借入金の返済による支出8億60百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予測については、2022年5月13日の「2022年3月期 決算短信」で公表いたしました通期連結業績予測に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,003	3,684
受取手形及び売掛金	3,340	3,527
電子記録債権	1,367	1,696
製品	607	711
仕掛品	138	169
原材料	876	966
その他	310	424
流動資産合計	10,644	11,181
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,053	3,069
土地	3,402	3,520
その他(純額)	3,622	4,890
有形固定資産合計	10,078	11,480
無形固定資産		
のれん	26	18
その他	75	73
無形固定資産合計	101	92
投資その他の資産		
投資有価証券	269	258
その他	243	257
貸倒引当金	△18	△18
投資その他の資産合計	494	497
固定資産合計	10,674	12,070
資産合計	21,318	23,251
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,211	2,553
電子記録債務	3,106	3,016
1年内返済予定の長期借入金	1,556	1,614
未払法人税等	183	270
賞与引当金	244	244
その他	1,701	1,695
流動負債合計	9,004	9,394
固定負債		
長期借入金	3,222	3,577
退職給付に係る負債	264	244
資産除去債務	52	51
その他	685	635
固定負債合計	4,224	4,509
負債合計	13,228	13,903

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,208	1,208
資本剰余金	1,034	1,034
利益剰余金	4,619	4,898
自己株式	△0	△0
株主資本合計	6,862	7,141
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	112	102
為替換算調整勘定	87	440
その他の包括利益累計額合計	200	543
非支配株主持分	1,026	1,663
純資産合計	8,089	9,348
負債純資産合計	21,318	23,251

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	8,620	10,896
売上原価	7,345	9,148
売上総利益	1,274	1,748
販売費及び一般管理費	1,255	1,481
営業利益	19	266
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	4	5
為替差益	15	158
受取補償金	53	16
その他	12	17
営業外収益合計	87	198
営業外費用		
支払利息	24	17
その他	0	1
営業外費用合計	25	19
経常利益	81	445
特別利益		
固定資産売却益	0	0
負ののれん発生益	10	—
投資有価証券売却益	—	17
特別利益合計	11	18
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	92	464
法人税等	55	153
四半期純利益	37	311
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	16	△18
親会社株主に帰属する四半期純利益	20	329

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	37	311
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7	△10
為替換算調整勘定	95	609
その他の包括利益合計	102	598
四半期包括利益	140	909
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	94	672
非支配株主に係る四半期包括利益	46	237

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	92	464
減価償却費	848	926
のれん償却額	9	11
負ののれん発生益	△10	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	31	△0
受取利息及び受取配当金	△4	△5
支払利息	24	17
為替差損益 (△は益)	△5	△35
有形固定資産売却損益 (△は益)	△0	△0
有形固定資産除却損	0	0
投資有価証券売却損益 (△は益)	△0	△17
売上債権の増減額 (△は増加)	567	△420
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△128	△143
仕入債務の増減額 (△は減少)	△825	31
未収入金の増減額 (△は増加)	78	1
未収消費税等の増減額 (△は増加)	141	—
未払消費税等の増減額 (△は減少)	94	△190
その他	△105	△76
小計	808	563
利息及び配当金の受取額	4	5
利息の支払額	△24	△18
法人税等の支払額	△22	△80
法人税等の還付額	66	2
営業活動によるキャッシュ・フロー	831	472
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△446	△1,434
有形固定資産の売却による収入	0	—
無形固定資産の取得による支出	△2	△36
関係会社株式の取得による支出	—	△31
投資有価証券の売却による収入	0	17
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の 取得による支出	△13	—
その他	5	△16
投資活動によるキャッシュ・フロー	△456	△1,500

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△800	—
長期借入れによる収入	2,100	1,249
長期借入金の返済による支出	△717	△860
リース債務の返済による支出	△131	△114
自己株式の取得による支出	—	△0
非支配株主からの払込みによる収入	—	321
配当金の支払額	△51	△51
財務活動によるキャッシュ・フロー	399	544
現金及び現金同等物に係る換算差額	30	164
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	805	△318
現金及び現金同等物の期首残高	2,891	4,075
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,696	3,757

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合は、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本成形 関連事業	中国成形 関連事業	アメリカ成形 関連事業	不動産 関連事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	7,064	221	1,190	144	8,620	—	8,620
セグメント間の内部 売上高又は振替高	17	1	—	—	19	△19	—
計	7,081	222	1,190	144	8,639	△19	8,620
セグメント利益 又は損失(△)	△163	17	51	117	22	△3	19

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失は、営業利益ベースの数値であります。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第2四半期連結会計期間において、竜舞プラスチック株式会社の株式を100%取得し、連結の範囲に含めております。

これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第2四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「日本成形関連事業」において、32億44百万円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「日本成形関連事業」において、竜舞プラスチック株式会社の株式を100%取得し、連結子会社としたことにより、負ののれん発生益を認識しております。なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては10百万円であります。また、負ののれん発生益は特別利益のため、上記には含めておりません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本成形 関連事業	中国成形 関連事業	アメリカ成形 関連事業	不動産 関連事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,060	389	1,303	143	10,896	—	10,896
セグメント間の内部 売上高又は振替高	18	40	—	—	59	△59	—
計	9,078	430	1,303	143	10,955	△59	10,896
セグメント利益 又は損失（△）	107	65	△26	117	263	2	266

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失は、営業利益ベースの数値であります。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

「アメリカ成形関連事業」において、三甲プラスチックメキシココーポレーション第二工場建設に伴い、固定資産が増加しました。また、増資により現金及び預金が増加しました。

これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第2四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「アメリカ成形関連事業」において、19億47百万円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(多額な資金の借入)

当社の連結子会社である三甲アメリカコーポレーションは、当社の連結子会社である三甲プラスチックメキシココーポレーションの第二工場設備資金として、2022年8月29日に借入を実行しました。

取引の概要

- ① 借入資金の使途：三甲プラスチックメキシココーポレーション第二工場における設備資金
- ② 借入先の名称：三甲株式会社及び、日本ブラパレット株式会社
- ③ 借入の金額：16,000千米ドル
- ④ 借入の実施時期、返済期限：実行日 2022年8月29日
返済期限 2034年6月30日
- ⑤ 借入金利：固定金利
- ⑥ 担保提供資産又は保証の内容：無担保、無保証